

HealthCheck ツール

総合管理者の役職にある人がこの機能にアクセスできます。

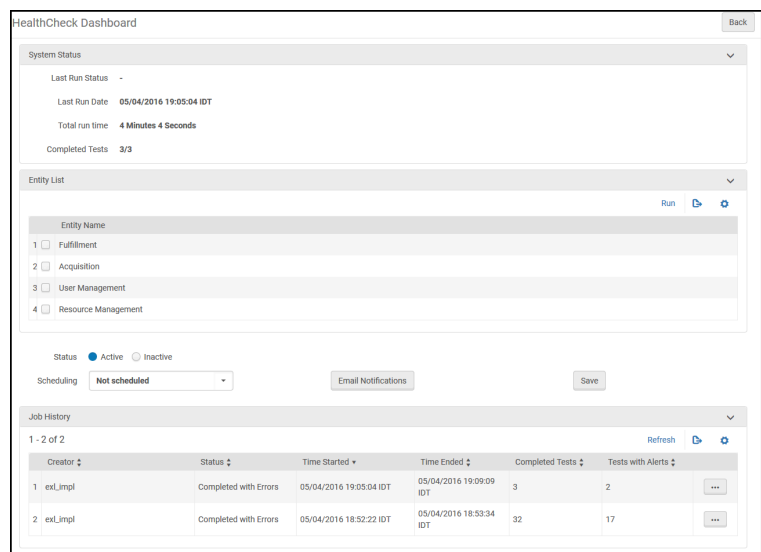
Almaが提供するHealthCheckツールにより、Almaの管理者は、設定に何らかの問題(潜在的な設定の不一致、エラー、定義された機能異常など)が存在するかどうかを識別できます。

Note

このツールは通常、実装中に構成エラーを見つけるために使用されます。結果のエラーは、不一致、または構成に当てはまらない問題である場合がありますが、必ずしも構成の「問題」とは限りません。設定に直接関係しない場合でも、設定に基づいてヘルスチェックツールを使用すると、一部のイベントが表示される場合があります。

HealthCheckツールにアクセスするには：

HealthCheckダッシュボードのページを開きます(アドミン > アドバンスツール > **HealthCheck**ダッシュボード)。



The screenshot shows the HealthCheck Dashboard interface. It includes a 'System Status' section with fields for 'Last Run Status', 'Last Run Date' (05/04/2016 19:05:04 IDT), 'Total run time' (4 Minutes 4 Seconds), and 'Completed Tests' (3/3). Below this is an 'Entity List' section with a table of entities: Fulfillment, Acquisition, User Management, and Resource Management. There are controls for 'Status' (Active/Inactive) and 'Scheduling' (Not scheduled). At the bottom is a 'Job History' table with columns for Creator, Status, Time Started, Time Ended, Completed Tests, and Tests with Alerts.

Creator	Status	Time Started	Time Ended	Completed Tests	Tests with Alerts
ex_lmpl	Completed with Errors	05/04/2016 19:05:04 IDT	05/04/2016 19:09:09 IDT	3	2
ex_lmpl	Completed with Errors	05/04/2016 18:52:22 IDT	05/04/2016 18:53:34 IDT	32	17

HealthCheckダッシュボード

システムステータスセクションには、最後に実行されたジョブのリストがあります。

HealthCheckツールは、一定のスケジュールのもと自動または手動で実行できます。

HealthCheckツールを手動で実行するには：

1. エンティティ名セクションから、HealthCheckツールを実行したい機能領域を選択します。利用可能なオプションは次の通りです：
 - 。 フルフィルメント

- 受入
- ユーザー管理
- リソース管理

2. 実行を選択します。ジョブが実行されます。

HealthCheckツールを一定のスケジュールで実行されるようにスケジュールするには：

1. アクティブを選択します。
2. スケジューリングのドロップダウンリストから、次のオプションの1つを選択します。
 - 毎週月曜日の6:00
 - 毎月2日の6:00
3. Eメールアドレスにジョブリポートを送信するためには、Eメール通知を選択します。詳細については、[スケジュールされたジョブのEメール通知を設定する](#)を参照してください。
4. 保存を選択します。ジョブがスケジュールされます。ジョブは、スケジュールされたジョブのリストで確認できます；[スケジュールされたすべてのジョブの表示](#)を参照してください。

Note

HealthCheckツールのスケジュールされたジョブは、すべての機能領域で実行されます。

ジョブおよびテストリポートを表示するには：

ジョブが実行されると、結果がジョブ履歴セクションに表示されます。結果を更新するジョブを実行するには更新を選択します。その機能領域で実行されたテストのリストと、失敗の数を表示するには、機能領域を選択します。

Note

テストごとの失敗の数は100に制限されています。

次の表は、HealthCheckツールによって実行されるテストの一覧です。

HealthCheckツールのテスト

テスト	説明
フルフィルメント	
物理的配架場所にフルフィルメントユニットがあること	フルフィルメントユニットに属していない冊子所蔵が少なくとも1つある物理的配架場所があるかどうかを確認します。
フルフィルメントユニットにリクエストポリシーの対立がないこと	フルフィルメントユニットで、リクエストポリシーと利用規約ルールの間に対立があるかどうかを確認します。
図書館に通常開館時間があること	各図書館のカレンダーで通常開館時間があるかどうかを確認します。
物理的配架場所が貸出・返却受付に関連付けられていること	貸出・返却受付のない物理的配架場所があるかどうかを確認します。(貸出・返却受付に関する一般的な情報については、 貸出・返却受付でのユーザーサービスの管理)

テスト	説明
と	
図書館に相互関連性があること	図書館に相互関連性があるかどうかを確認します—相互関連性とは、ある図書館へのデリバリーを行う図書館が、その図書館の貸出・返却も担当している状態のことです。
セルフチェックの貸出・返却受付にSCプロファイルがあること	プロファイルや端末パスワードのないセルフチェックの貸出・返却受付があるかどうかを確認します。
図書館に主要な貸出・返却受付があること	他の図書館向けに貸出・返却を行う各図書館に主要な貸出・返却受付があることを確認します。
貸出・返却受付にはリクエスト/貸出・返却オペレータがいること	書棚からピックアップする貸出・返却受付に、リクエストオペレータがいることを確認します。 各貸出・返却受付に貸出・返却受付オペレータがいることを確認します。
アイテムポリシーがアイテムポリシーのコードテーブルで設定されていること	アイテムポリシー設定コードテーブルにすべてのアイテムポリシーが存在することを確認します。
リクエストの作成が可能な外部ユーザー	外部ユーザーがディスカバリーシステム (Primoなど) を介してリクエストを作成できるかどうかを確認します
図書館閉館日の例外のせいで調整されたユーザー貸出日	貸与 - カレンダー変更後の返却期日の修正ジョブが正常に実行され、少なくとも1つのアイテムを変更したことを確認します。
貸出更新の作成が可能な外部ユーザー	前月の間にPrimoからの貸出更新が発生したかどうか、データベースをチェックします。
ユーザーが罰金/手数料を支払えること	罰金/手数料の支払いを正常に処理できるかどうか確認する
受入	
ベンダーEDIプロファイルに有効なFTP接続の詳細が存在すること	EDIプロファイルを使用して、すべてのベンダーへのFTP接続をテストします。
資金と請求書/注文が一致するリポーティングコード	請求書明細リポーティングコードとその資金リポーティングコードが同じであることを確認します。 注文明細リポーティングコードとその資金リポーティングコードが同じであることを確認します。
アクティブなベンダーが住所とEメールアドレスを持っていること	住所やEメールのないベンダーがあるかどうかを確認します。
注文明細の通貨が設定されていること	注文明細におけるすべての通貨が、通貨サブセット設定テーブルで定義されていることを確認します。
注文明細 - 前月に新しい注文が作成されたこと (EODまたは手動)	EODプロファイルの使用時に注文を作成できるかどうかを確認します。
請求書を作成するのに十分な	請求書を作成できるかどうかを確認します。

テスト	説明
許可(手動やバッチ)	
支払請求書ジョブのエクスポート履歴	支払いのために請求書をエクスポートできるかどうかを確認します。
ACQワークオーダー部署の定義が存在し、オペレータの役職が割り当てられていること。	すべての図書館が受入部署に割り当てられ、そのオペレータが受入部署に割り当てられていることを確認します。
グローバルな電子資源が有効化されていること	ポートフォリオと電子コレクションが有効化されたことをDBで確認します。 その図書館に電子リソースを有効化できるオペレータがいることをチェックします。
アクティブな会計期間と、アクティブな会計期間についてアクティブな資金が存在すること	すべてのアクティブな注文書にアクティブな資金があることを確認します。
ユーザー管理	
ユーザーグループが設定されていること	設定テーブルで定義されていないユーザーグループがあるかどうかを確認します。
ユーザーグループのリストに利用者の制限があること	すべてのユーザーグループに利用者の制限があることを確認します。
ユーザーに利用者の役職が存在すること	すべてのユーザーに利用者の役職があることを確認します。
ユーザーブロックが正しく定義されていること	「ユーザーブロックの説明」の設定テーブルや「ブロックされたアクションへのブロック」の設定テーブルで定義されていないユーザーブロックがあるかどうかを確認します。
スタッフユーザーが定義されており、前月にユーザーが手動で更新されたこと	Almaでユーザーが管理できることを確認します
学生情報システムのFTP接続が機能しており、前月にユーザーが手動で更新されたこと	Almaと学生管理システムの統合を確認します
リソース管理	
新規レコードをインポートできるか？	FTPがインポートプロファイル用に設定されていることを確認しテストします。前月にインポートプロファイルが正常に実行されていることをジョブ履歴で確認しますユーザーにADMINISTRATION、REPOSIT_ADMIN、およびCATALOGING_CONFIGURATIONという3つの役職が割り当てられていることを確認します
外部ソースへのレコードの公開が可能なこと	レコードを外部ソースに公開できるかどうかを確認します
目録のコピーが外部検索リソースから可能なこと	必要なすべての外部検索リソースから目録のコピーを実行できるかどうかを確認します